2021年6月期

決算説明資料

株式会社ウイルプラスホールディングス

東証第一部:3538



目次

WILLPLUS

- + 3Q決算概況
- + 今期の取り組み
- + 連結業績
- + 通期連結業績予想
- + 株主還元
- + APPENDIX



3Q決算概況



市場環境①



- ・1月より二度目の緊急事態宣言が発令。解除後も感染者数は徐々に増加傾向で 依然収束の見えない状況が続く
- ・既存店舗の来店客数は、緊急事態宣言下も前年を上回って推移

1~3月の国内輸入車販売台数(登録車)

※貨物、バス含む乗用車

	1月	2月	3月
輸入車	26,032	30,292	45,040
前年比	130.1%	119.4%	118.6%

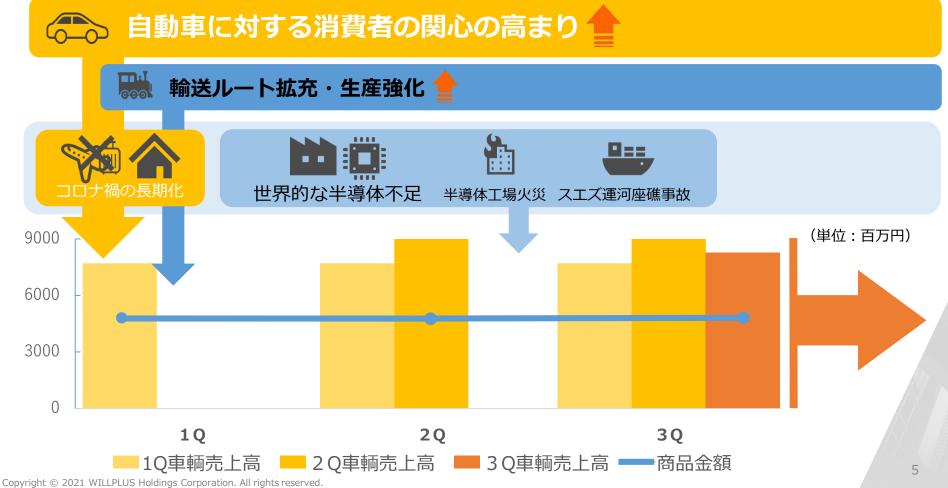
当社の月別来店客数推移(前年比)※既存店ベース



市場環境②



- ・コロナ禍の長期化で消費者の滞留資金は輸入車へ
- ・新車受注は好調、世界的な半導体不足などの影響はあるものの、 各メーカーは自社調達や輸送ルートの拡充など独自の対策で需要に対応



当社の取り組み方針



安全な 店舗運営と 業務の効率化

新車販売シェス の拡大

マルチブランド戦略 ドミナント戦略 M&A戦略

> 加速するEV化 への対応

感染防止対策の徹底と同時に、オンライン商談や 書類の電子化等、コロナ禍での変化に対応した 最適な事業活動への転換と、業務の効率化を推進。

新車はストック型ビジネスに繋がる要。 コロナ禍でも新車は特別な買い物であることに 変わりはなく、店舗での試乗ニーズが高い。 さらに、最新のCIに準拠した高品質な店舗体験を 付加価値として提供し、顧客満足度向上を追求。 3つの成長戦略のもと、積極的な店舗展開で 引き続き販売シェア拡大を目指す。

世界的な脱炭素化の潮流が日本にも差し迫る中、 今後積極的に取り組んでいくべき課題の一つ。 欧州車はEV先進国としてアドバンテージがある。 今後加速すると思われるEVの普及に向けて、 設備投資を推進、顧客へのいち早いEV体験を提供。

日本でも加速する脱炭素化の潮流



世界

日本

2015年12月〜 パリ協定採択で欧州を中心に世界各国で 本格的な脱炭素化社会の実現に向けた 目標の策定と取り組みが進む



日本でも本腰の『グリーン戦略』策定 脱炭素化「21世紀後半」→「30年以内に」

EU:温室効果ガス排出量を1990年比で 最低40%削減、EVを3000万台に

2030年

CO2排出量2013年比26%削減

英:ガソリン、ディーゼル車の新車販売禁止

(今年中に引き上げる方向で見直す方針)

英:ハイブリッド車の新車販売禁止

米(カルフォルニア州等):

ガソリン車などの新車販売禁止(HV含む)

中:全新車をハイブリッド車や電気自動車に NEV(EV/PHV/FCV)比率を50%以上に 2035年

遅くとも2030年代半ばまでに 乗用車の新車販売をすべてを電動車化 (2019年までの電動車割合約35%)

※電動車 = EV、PHV、FCV

仏、西: EV以外の新車販売を禁止(PHVを含む)

2040年

EU: 温室効果ガス排出量を1990年比で 80~95%削減(実質ゼロに) 2050年

『脱炭素化社会』の実現

(温室効果ガス排出を実質ゼロに)

EV化に向けた取り組み



脱炭素化で先頭を走る欧州では、各メーカーEV化で日本に先行 当社でもすでにEV化に向けた設備投資を行っており、今後も拡充していく方針

当社取扱いブランドのEV

※一例

2020年~

- ・ジープ 『Regegade 4Xe』※PHV
- ・フィアット 『500e』
- ・BMW 『iX』『iX3』 人気車種X3をベースにしたモデル
- ・MINI 『ミニクーパーSE』
- ・ボルボ 『XC40 Recharge』 人気車種XC40のEVモデル
- ・ポルシェ『タイカン』 ポルシェ初のフルEV車

当社の取り組み

・全店舗に最新の充電器の設置を推進 全店舗の84%にすでに充電設備を設置済 加えて、急速充電器を順次設置中

ポルシェセンター仙台 に設置している 最新の急速充電器→

175kw 充電15分で 約400キロ走行が可能





・充実したデモカーの導入で いちはやくEVの試乗体験を提供

…など



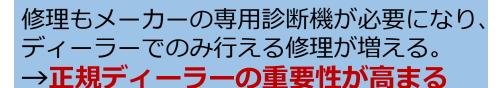


CASE connected











車両へのSIMカード搭載により、スマホを通して 状態把握や遠隔操作ができる車が増えている カーナビや車両制御プログラムを インターネット経由でアップデートするメーカーも

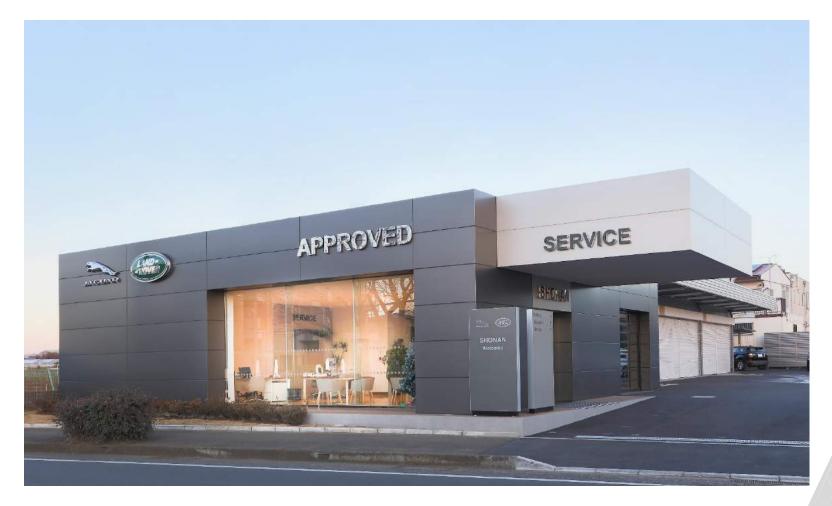
今期の取り組み







2020年12月5日付にて「ジャガー・ランドローバー・アプルーブド湘南」 「ジャガー・ランドローバー湘南サービス」を新築移転オープン 最新のCIに準拠







2021年2月6日付にて「ジャガー・ランドローバー相模原」を新規オープン 最新のCIに準拠







2021年2月6日付にて「フィアット/アバルト平塚」を移転オープン 最新のCIに準拠



出店関係



2021年2月6日付にて「MINI NEXT福岡東」を新規オープン

最新のCIに準拠







2021年3月27日付にて「アルファロメオ藤沢湘南」をリニューアルオープン 最新のCIに準拠







2021年3月27日付にて「ジープ藤沢湘南」をリニューアルオープン 最新のCIに準拠



店舗への積極投資



既存店舗への投資

CI変更

- 最新のCIに準拠し、ブランド毎の様々なリテール体験を提供
- 最新の設備等による高品 質なサービスを提供

移転オープン

- 視認性、利便性に長けた 好立地に移転
- 経営効率の向上

新規店舗への投資

新規オープン

- ■商圏の拡大
- 既存エリアの補完
- 既存ブランドの業容拡大

来場顧客、CS向上によるリピーターの増加



収益の向上

連結業績

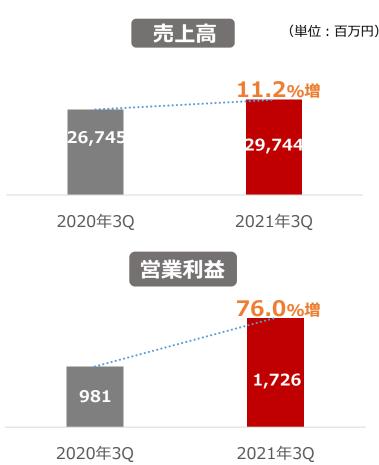


連結業績ハイライト



•売上高:29,744百万円(前年同期比11.2%増)

• 営業利益: 1,726百万円(前年同期比76.0%增)



売上高増加要因

- 第3四半期として 過去最高に
- ■新車の入荷遅れが回復基調に
- ■中古車を中心に車輌販売が好調
- ■車輌整備、保険等ストック型ビジネスも好調

営業利益増加要因

第3四半期として過去最高に

- ■利益率の高い中古車売上の増加
- ■ストック型ビジネスモデルの着実な積み上がり
- ■資源の有効活用や業務フロー見直し等による効率化

連結損益計算書



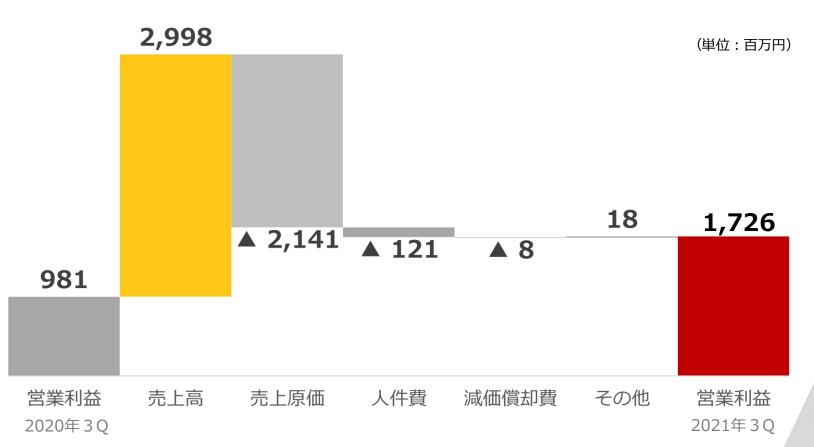
(単位:百万円)	2020年3Q	2020年3Q	増減額	増減率
売上高	26,745	29,744	+2,998	+11.2%
営業利益	981	1,726	+745	+76.0%
営業利益率	3.7%	5.8%	+2.1Pt	_
経常利益	1,005	1,738	+733	+72.9%
経常利益率	3.8%	5.9%	+2.1Pt	_
当期純利益	648	1,153	504	77.8%
当期純利益率	2.4%	3.9%	+1.5Pt	_

車輌販売は新車、中古車ともに好調 特に中古車が伸びたことで営業利益が大幅増

営業利益の推移(増減分析)



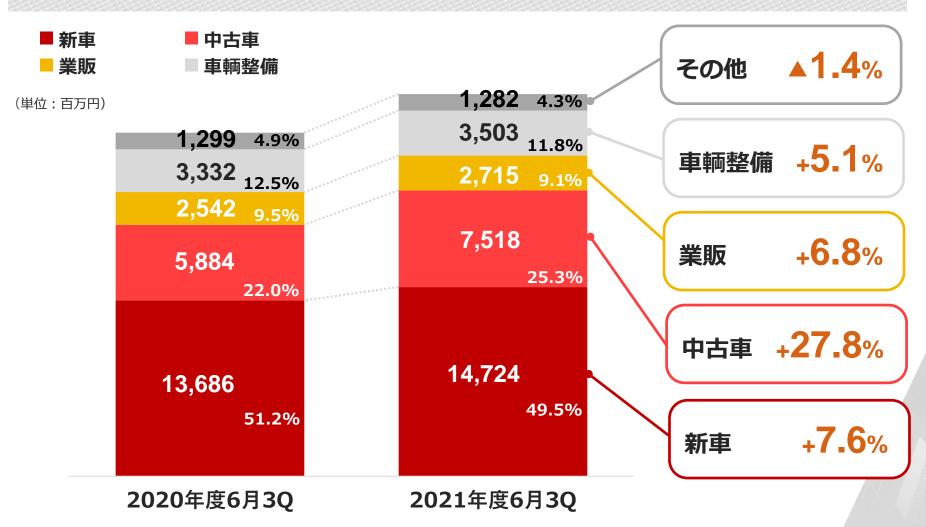
売上高は中古車を中心に各品目は前年同期比で増加 店舗数、人員増加に伴い諸経費増加



品目別売上高



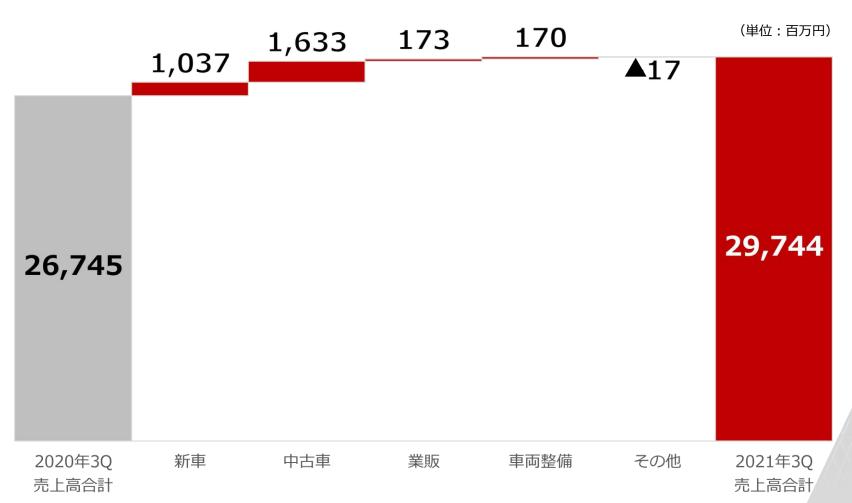
中古車を中心にほとんどの品目で増加



品目別売上高増減分析



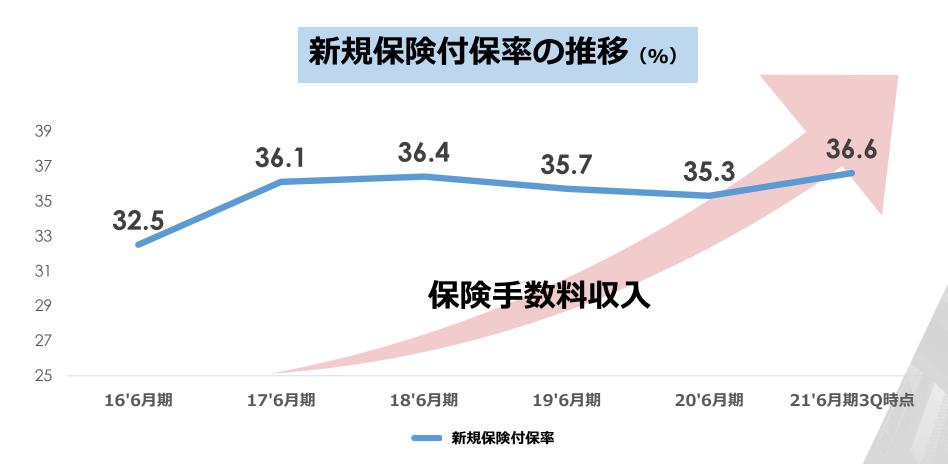
中古車を中心にほとんどの品目で増加



ストック型ビジネス

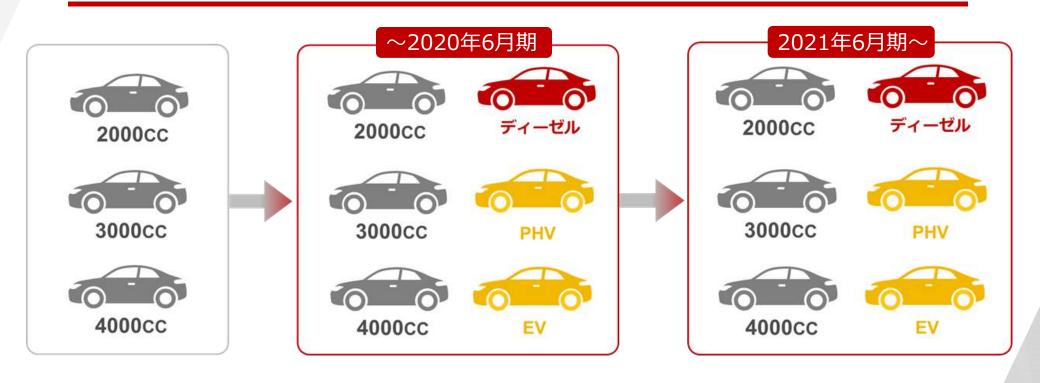


新規保険付保率、保険手数料収入ともに堅調に推移 →市場や環境変化に左右されにくい収益体質を目指す



デモカーの減価償却費





減価償却費のうち、車輌減価償却費の割合は引き続き減少 店舗当たりの台数増加傾向は横ばい

連結貸借対照表(資産)



(単位:百万円)	2020年度	2021年3Q	増減額	増減率
流動資産	9,269	9,825	+555	+6.0%
現預金	2,522	3,465	+943	+37.4%
商品	5,492	4,884	▲ 607	▲11.1%
固定資産	7,376	7,533	+157	+2.1%
建物及び構築物	3,313	3,754	+441	+13.3%
資産合計	16,645	17,358	+712	+4.3%
総資産経常利益率 (ROA)	7.6%	※3Q経過時点 10.2%	+2.6pt	

総資産は712百万円の増加

→受注分の納車が進み、商品が607百万円減少した一方で現預金が943百万円増加

連結貸借対照表(負債・純資産)

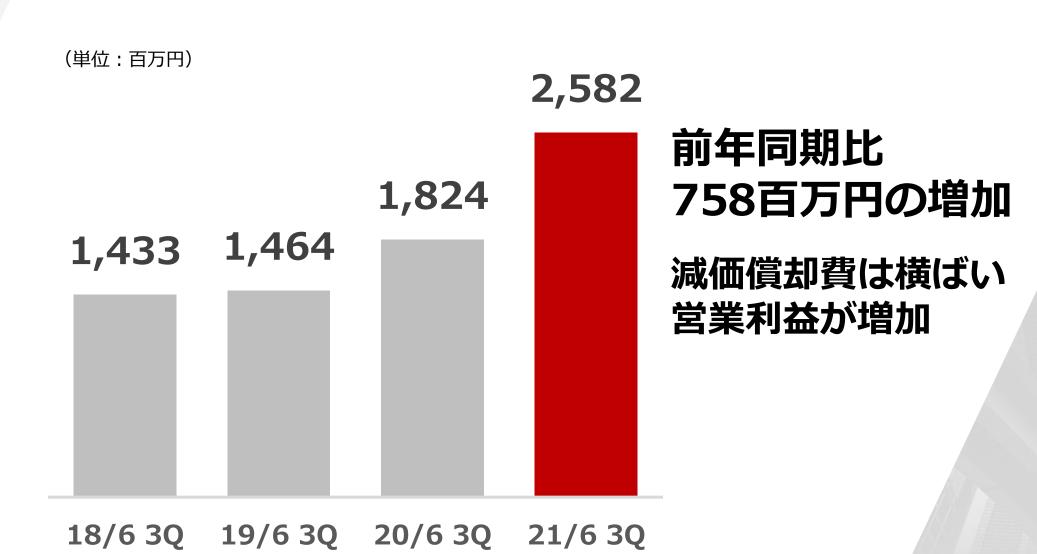


(単位:百万円)	2020年度	2021年3Q	増減額	増減率
流動負債	9,261	9,229	▲31	▲3.0 %
買掛金	3,081	2,015	▲1,066	▲34.6 %
前受金	947	1,851	+903	+95.4%
固定負債	1,261	981	▲279	▲22.2%
負債合計	10,522	10,211	▲311	▲3.0%
純資産	6,123	7,147	+1,024	+16.7%
自己資本利益率 (ROE)	13.9%	※3Q経過時点 17.4%	+3.5pt	
自己資本比率	36.8%	41.2%	+4.4pt	

受注が好調で前受金が大幅増、資金回転の向上で買掛金が減少

EBITDA







通期連結業績予想

通期連結業績予想の上方修正について



(単位:百万円)	前期実績 2020年6月期	2021年度 (当初予想)	2021年2月 発表修正予想	今回修正予想	増減額	増減率
売上高	35,068	36,134	38,344	39,423	+1,078	2.8%
営業利益	1,160	1,180	1,836	2,106	+270	14.7%
営業利益率	3.3%	3.3%	4.8%	5.3%		+0.5Pt
経常利益	1,196	1,170	1,830	2,116	+286	15.6%
経常利益率	3.4%	3.2%	4.8%	5.4%		+0.6Pt
当期純利益	802	737	1,180	1,399	+219	18.6%
当期純利益 率	2.3%	2.0%	3.1%	3.5%		+0.4Pt

売上高の増加に加え、利益率の改善等により前回公表の予想を上回る見込みに 足元の受注状況や3Q業績等を踏まえ、上記の通りに修正

通期連結業績予想ハイライト



売上高 : 39,423百万円(前期比12.4%増)

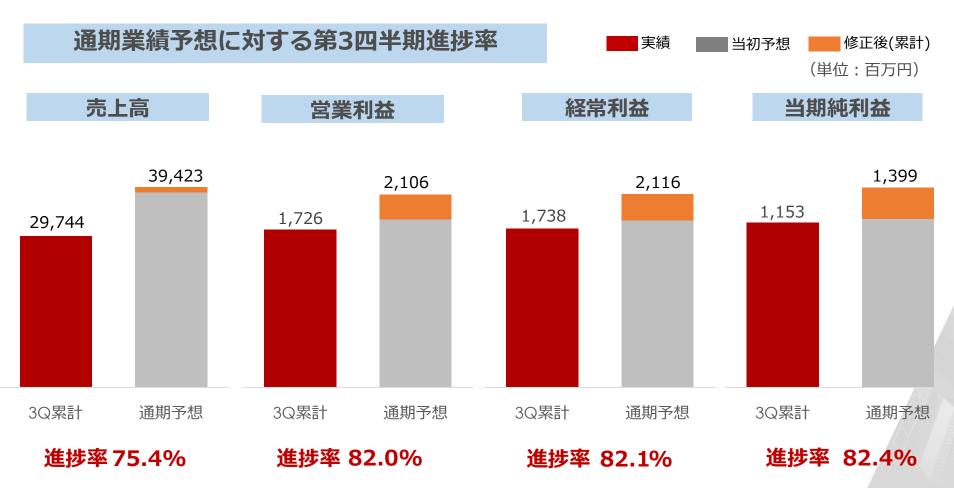
営業利益:2,106百万円(前期比81.5%増)

- 新型コロナウイルスの影響に関しては 少なくとも今年度中は続くと想定
- ・ニューモデルを中心に新車受注活動に注力
- ・引き続き新車供給が不安定なため、中古車販売も注力
- ・ストック型ビジネスの拡充
- ・商品回転率を高め、資本効率のよい経営を目指す

3Q進捗状況



- ・新車入荷遅れが回復基調、引き続き中古車を中心に車輌販売が好調
- ・車輌整備、保険等ストック型ビジネスも堅調に推移



株主還元



株主還元



- · 今期より配当性向の目途を15.0%→17.5%へ
- ・業績上方修正に伴い、 2021年6月期年間配当は25円79銭への引き上げを予定

1株当たり	2020年6月期 実績	2021年6月期 当初予想	2021年6月期 2月発表修正予想	2021年6月期 修正後(予定)
中間配当	5円00銭	5円00銭	5円00銭	5円00銭
期末配当	9円00銭	8円59銭	16円77銭	20円79銭
年間配当	14円00銭	13円59銭	21円77銭	25円79銭

株主優待



保有株式数*

基準日

優待内容

100株

6月末日

QUOカード 1,000円分

*基準日の当社株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上の株式を保有されている株主様を対象

APPENDIX



会社概要・沿革



会社概要



株式会社ウイルプラスホールディングス 商号

代表者名 代表取締役社長 成瀬 隆章

設立年月日 2007年10月25日

本社所在地 東京都港区芝5丁目13番地15号 芝三田森ビル8階

資本金 218百万円(2020年12月末時点)

株式市場 東証第一部(証券コード3538)

ウイルプラスホールディングス

チェッカーモータース(株)

インポーター FCAジャパン(株)

ジャガー・ランドローバー

・ジャパン(株)

店舗数 17店舗(2020年6月末時点)

取扱いブランド











ウイルプラスモトーレン(株)

インポーター ビー・エム・ ダブリュー㈱

店舗数 9店舗(2020年6月末時点)

取扱いブランド





帝欧オート(株)

インポーター ボルボ・カー・ ジャパン(株)

店舗数 4店舗(2020年6月末時点)

取扱いブランド



ウイルプラスアインス(株)

インポーター ポルシェ ジャパン㈱

店舗数 2店舗(2020年6月末時点)

取扱いブランド



会社沿革



2008年7月

チェッカーモータース(株) 子会社化

- ⇒関東エリアへの本格進出
- ⇒FIAT・Alfa Romeoの取扱い開始

2009年7月 クライスラー日本㈱より直営店2店舗譲受

2009年9月 ウイルプラスモトーレン(株) BMW・MINI 5店舗の事業譲受

⇒BMW・MINIの取扱い開始

2014年4月 帝欧オート㈱子会社化 ⇒VOLVOの取扱い開始

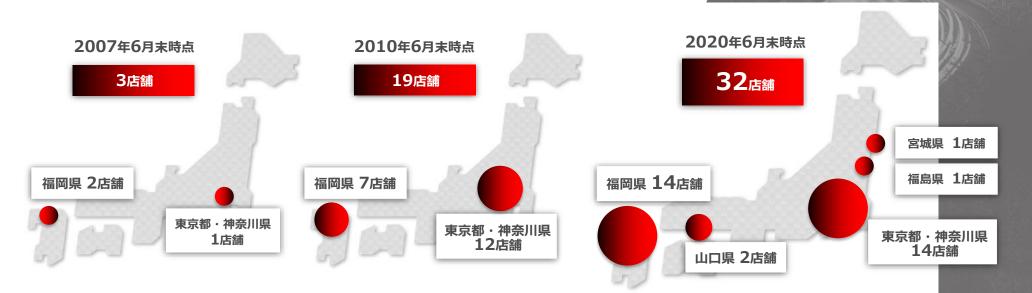
2017年11月 ウイルプラスアインス(株)を設立

2018年4月 ジャガー・ランドローバー湘南 事業譲受 ⇒JAGUAR · LANDROVERØ

2018年12月 ポルシエ仙台事業譲受 ⇒PORSCHEの取扱い開始 ⇒東北エリア初進出

2019年3月 MINI山口、MINI NEXT 周南新規オープン ⇒中国エリア初進出

2019年4月 ジャガー・ランドローバー 三鷹事業譲受



取扱い開始

JEEP





Jeep Wrangler

KYUSHU AREA





福岡市博多区麦野3-19-3 TEL: 092-574-4301



福岡市西区福重4-5-3 TEL: 092-894-5030



久留米市東合川7-1-1 TEL: 0942-40-7775



北九州市小倉北区木町1-8-3 TEL: 093-583-0770

TOKYO AREA





世田谷区上野毛1-34-11 TEL: 03-3704-1261



ジープ藤沢湘南

茅ケ崎市赤松町6-50 TEL: 0467-50-1411



ジープ目黒

目黒区下目黒2-23-18 TEL: 03-5436-6631

Alfa Romeo







TOKYO AREA





大田区南千束1-3-8 TEL: 03-5754-3728



アルファ ロメオ世田谷

世田谷区世田谷2-4-11 TEL: 03-5426-4301



茅ケ崎市赤松町6-50 TEL: 0467-50-1421

FIAT/ABARTH













アイアット/田園調布

フィアット/ 平塚アバルト



フィアット/田園調布SV



世田谷区玉川田園調布2-7-19 TEL: 03-3722-3722



世田谷区世田谷2-4-11 TEL: 03-5426-4301



板橋区小茂根4-9-2 TEL: 03-5917-0377



茅ケ崎市赤松町6-50 TEL: 0467-50-1421



大田区南千束1-3-8 TEL: 03-5754-3722



フィアット/アバルト平塚

神奈川県平塚市四之宮5-10-9 TEL: 04-6302-8111

JAGUAR/LAND ROVER



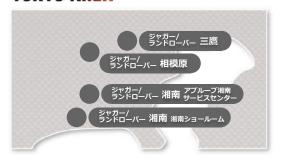








TOKYO AREA





三鷹市野崎3-25-12 TEL: 0422-31-1120



茅ヶ崎市汐見台2-22 TEL: 0467-39-5517



藤沢市亀井野3277 TEL: 0463-51-4088

KYUSHU AREA





相模原市中央区富士見1-6-1 TEL: 042-707-1344



北九州市小倉北区西港町30-1 TEL: 093-562-0707

BMW







KYUSHU AREA





北九州市小倉北区竪町1-1-25 TEL: 093-591-1166



Willplus BMW八幡

北九州市八幡東区桃園2-1-1 TEL: 093-663-6555



BMW Premium Selection八幡

北九州市八幡東区桃園2-1-1 TEL: 093-663-6555

MINI



KYUSHU AREA

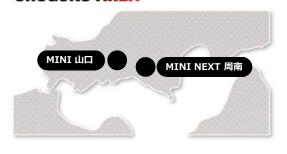






MINI MINI 3 DOOR

CHUGOKU AREA





MINI小倉

北九州市小倉北区木町1-7-10 TEL: 093-571-4132



MINI福岡西

福岡市西区福重3-33-11 TEL: 092-892-8132



MINI博多

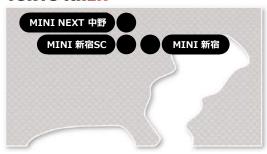
福岡市博多区麦野3-19-5 TEL: 092-593-9832



MINI NEXT福岡東

糟屋郡新宮町原上1403-1 TEL: 092-963-3223

TOKYO AREA





山口市朝田939-1 TEL: 083-901-3132



MINI NEXT周南

周南市横浜町13-7 TEL: 0834-33-6800



MINI新宿

新宿区西新宿6-14-1 TEL: 03-5909-8632



MINI NEXT 中野/ MINI新宿サービスセンタ・

中野区江原町2-28-10 TEL: 03-3954-5021

VOLVO







VOLVO XC40

KYUSHU AREA





福岡市早良区飯倉3-20-38 TEL: 092-832-2233



ボルボ・カー北九州

北九州市戸畑区一枝 4-7-22 TEL: 093-873-3838



ボルボ・カー福岡南

大野城市御笠川4-12-1 TEL: 092-504-8800



ボルボ・カー久留米

久留米市東合川 4-1-27 TEL: 0942-45-0960

PORSCHE







PORSCHE Taycan

TOHOKU AREA





仙台市泉区山の寺2-1-13 TEL: 022-375-0911



郡山市喜久田町松ヶ作16-200 TEL: 024-963-1911

チェッカーモータース (株)









KYUSHU AREA





宗像市王丸786-4 TEL: 0940-37-7007

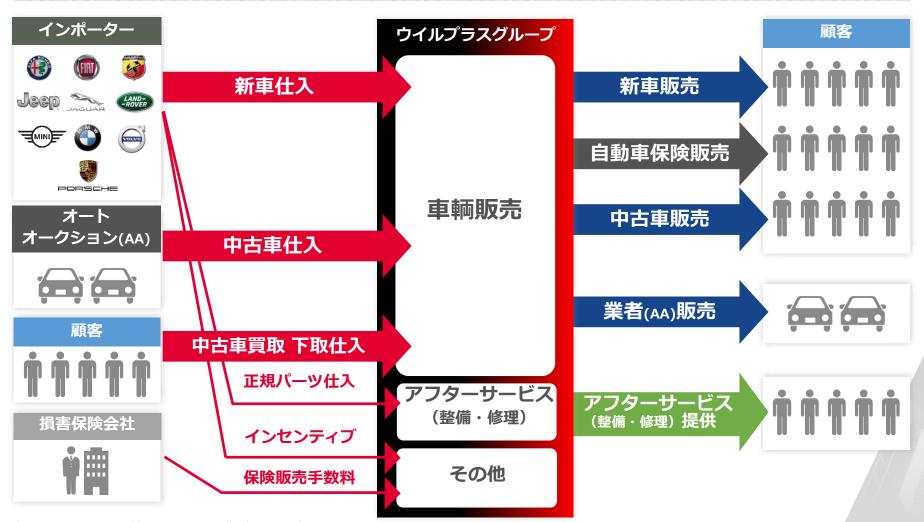
事業内容



事業内容



新車、中古車、業販、車輌整備、その他を取扱い



ストック型ビジネス



車輌整備、その他事業はストック型のビジネスモデル

メンテナンスパック 等による入庫の確保 車輌販売

車輌整備

管理顧客の増加

車輌販売

保険加入

管理顧客の増加

販売台数が多いため、

- ①車輌整備による収益が多い
- ②手数料の好条件

業界平均より高い加入率

高い継続率

ストック型ビジネスによる安定収入



成長戦略



グループ成長戦略



マルチブランド戦略

ドミナント戦略

M&A戦略

マルチブランド戦略



計10ブランドを扱うことにより、ブランド間の新型モデル投入時期の差異による販売サイクルへの影響を平準化

新型モデル発売時期による平準化イメージ



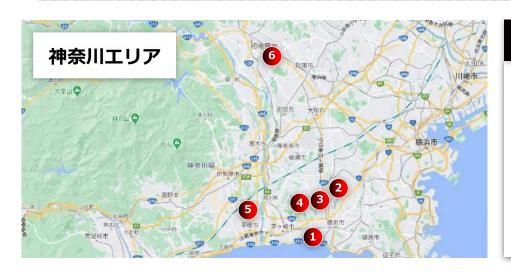




ドミナント戦略



ディーラーネットワークのドミナント(例)



神奈川エリア ディーラーネットワーク

- **①ジャガー/ランドローバー湘南**(湘南ショールーム)
- ②ジャガー/ランドローバー湘南 (アプルーブド湘南/ サービスセンター)
- ❸ジープ藤沢湘南
- ●アルファロメオ藤沢湘南
- 6フィアット/アバルト平塚
- 6ジャガー/ランドローバー相模原



北九州エリア ディーラーネットワーク

- ●ボルボ・カー北九州
- 2ジープ北九州
- **③**BMW小倉
- **4**BMW八幡
- **G**MINI小倉
- ❸ジャガー/ランドローバー北九州



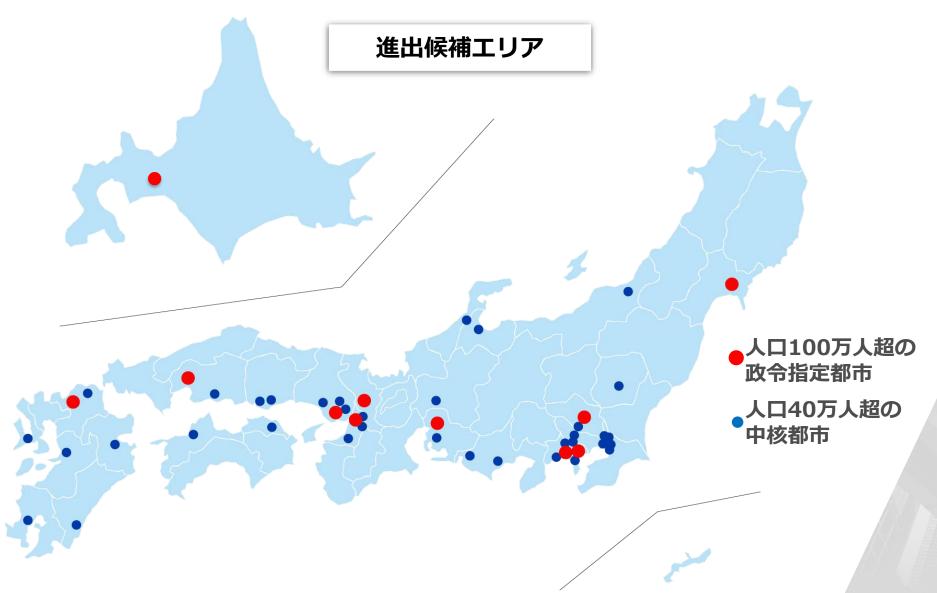
新たなエリアへの進出

新たなブランドの獲得 (マルチブランド戦略)

既存ブランドのシェア拡大

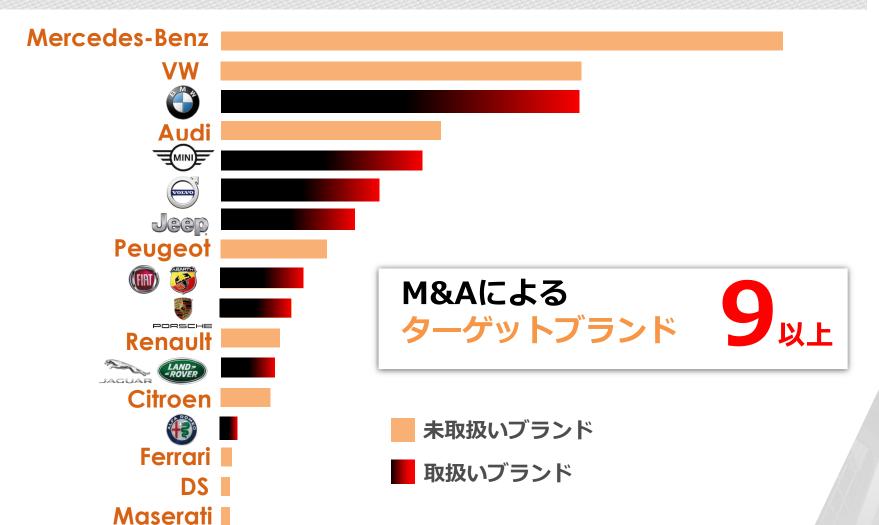
Holdings Corporation. All rights reserved.







未取扱いブランド

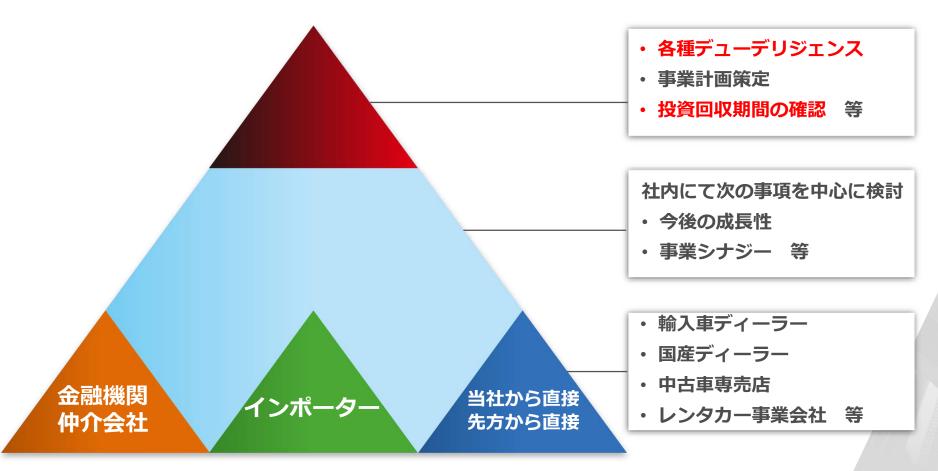


※国内新規登録台数順



M&A案件の発生・成立

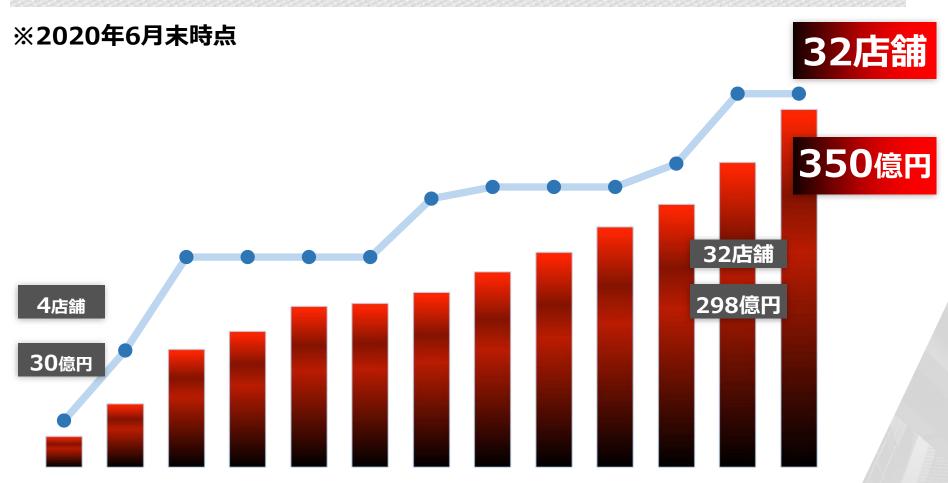
- □金融機関等の紹介、インポーター、オーナー持ちこみ等により発生
- □当社の投資回収基準に沿った案件のみデューデリジェンスを実施し、交渉を経て成立



店舗数及び売上高の推移



積極的なM&Aと新規出店により売上高が増加



'08/6期 '09/6期 '10/6期 '11/6期 '12/6期 '13/6期 '14/6期 '15/6期 '16/6期 '17/6期 '18/6期 '19/6期 '20/6期

市場動向



国内自動車市場



国内新車登録台数は減少傾向

少子高齢化 性能向上による保有期間の長期化 消費スタイル・嗜好の変化

国内新車登録台数(軽自動車除く)推移

1996年

538 万台

2020年

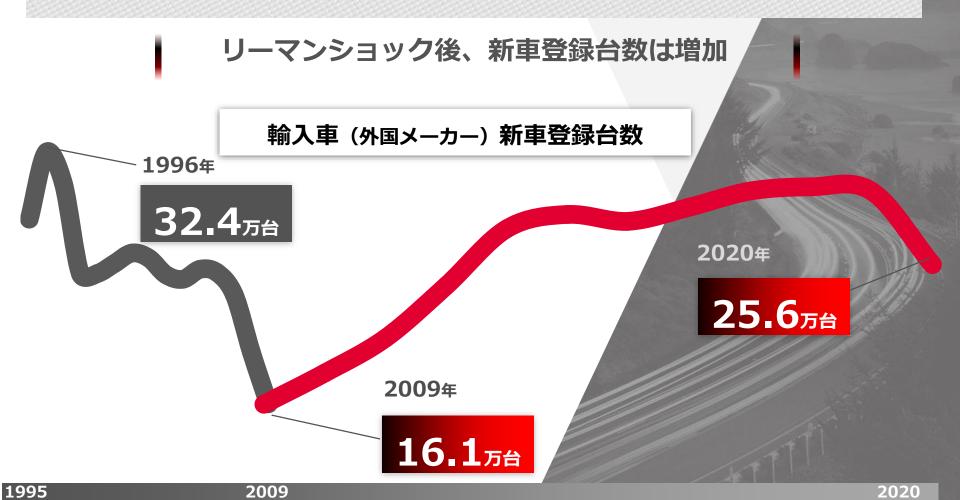
288万台

2000 2005 2010 2020 1995

国内輸入車市場



国内における輸入車市場は拡大傾向



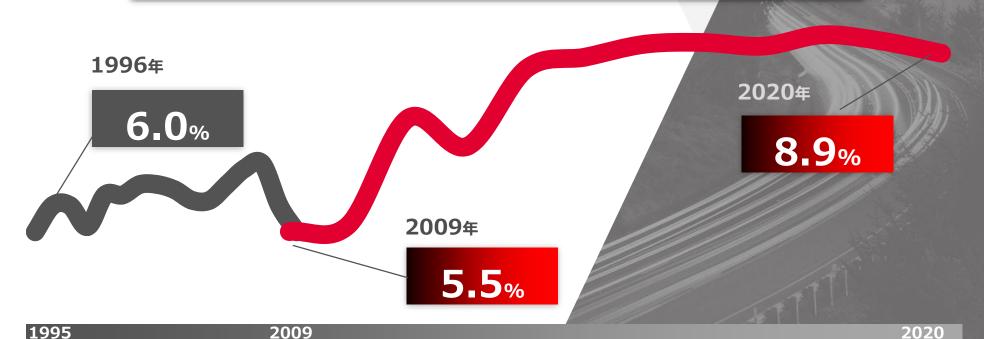
国内輸入車市場

出所:日本自動車輸入組合資料より当社作成



国内乗用車(軽自動車除く)における 輸入車シェアは 増加

国内新車登録台数(軽自動車除く)における 輸入車シェア登録台数



国内輸入車シェアの拡大



日本の輸入車シェアは拡大傾向だが、諸外国比では低水準



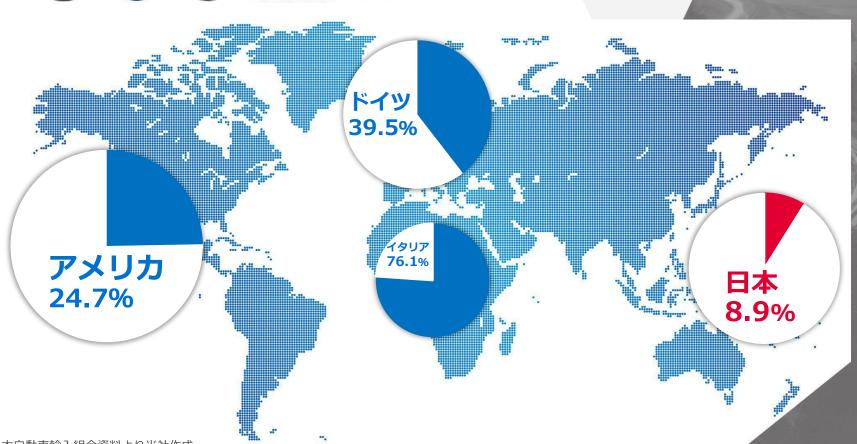








を擁するドイツの輸入車シェアは39.5%



ストック型ビジネスの今後の重要性



車の長寿化 技術革新保有台数増加

自動車産業は 大変革の時期を 迎えようとしている

1970年

ストック型 ビジネスの 拡大



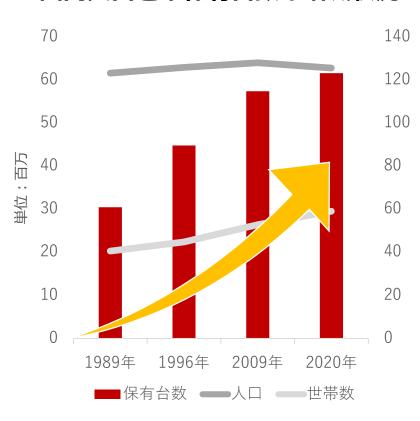
2020年



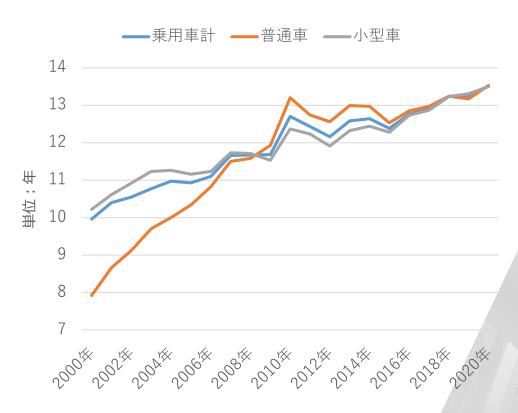


横ばいの人口に対し、車保有台数や平均使用年数は増加傾向

国内人口と車保有台数の増減状況



自動車平均使用年数推移



マーケット規模と今後の展望



市場規模、当社の売上高ともに堅調に成長。 中小規模ディーラーの集約化が進む中、M&Aでシェア拡大を目指す。



業績データ



(単位:百万円)





免責事項・お問い合わせ



本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し等の将来に関する記述が含まれております。

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、情報の正確性等について保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせは下記まで

株式会社ウイルプラスホールディングス IR室

E-mail: <u>ir-info@willplus.co.jp</u>

電話番号:03-5730-0589(土日祝除く10時00分~17時00分)

URL: https://www.willplus.co.jp

未来に+ (なの喜びを

私たちはお客様に輸入車のある生活を提案し、関わる全ての人々を笑顔に 変えていく挑戦を続けます